

かわ

2020.10.1

Vol.247



Contents

わがまちのかわ◎第45回 **川崎町** .. P1~P2

河川愛護協働事業の募集 .. P3

河川災害からの復旧状況 .. P4

浸水対策重点地域緊急事業 .. P5

“九州初”県管理の排水ポンプ車を導入! .. P6

河川功労者表彰 .. P7~P8

ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!
No.2 汽水域に入るための道具立て
..... P9~P10

河川協会からのお知らせ



わがまちの かわ

「川崎町」



福岡県



中元寺川と安宅川が合流する地点「であい」

■ 川崎町の概要

川崎町は福岡県のほぼ中央に位置し、南に霊峰英彦山、北に福智山を仰ぎ、町の中央を中元寺川が流れています。中元寺川は、町内をほぼ南北に貫流する1級河川です。農業用水だけでなく、上水道や工業用水として利用され、本町にとって重要な水資源となっています。川沿いには田園風景が広がり、この自然に恵まれた土地で育つ良質な農産物は町の自慢です。きれいな水に盆地特有の寒暖差もあり、美味しい野菜やお米、果物が収穫されるとともに四季折々でさまざまな自然風景を楽しむことができます。

また、これらの自然は歴史や文化を育んできました。室町時代の画聖雪舟が築庭したといわれる国指定名勝庭園「藤江氏魚楽園」は四季を通じて美しい表情を見せ、絵画のなかにいるような素晴らしい景色が楽しめます。

本町にある鮎返橋付近に、中元寺川水系ではここでしか見ることができない貴重な「甌穴」群が存在します。河底や河岸が硬い岩盤の場合、何らかの影響で岩盤に割れ目等が生じ、そこに水流浸食でくぼみができることがあります。このくぼみの中に岩盤よりさらに硬い小石が入ると、渦流によってその小石が回転し、丸みを帯びた円形の穴ができます。これを学術的に「甌穴」といいます。甌穴は「自然のイタズラ」や「自然の芸術」と呼ばれ、上記したような一定の条件がそろわないとできません。何千年、何万年という気の遠くなるような時間を必要とします。現在、本町にある鮎返の甌穴群は本来の姿ではなく、古い記録を調べると、大正時代に洪水対策や船の行き来を容易にするため、ダイナマイトを使って、4回破壊したことがわかっています。当時の姿が現在も残っていたら、特別天然記念物(国宝級)の名勝であったろうといわれています。破壊を逃れたもの以外に、現在

鮎返橋付近では、新たな甌穴が誕生しつつあります。このまま何千年、何万年と保護されていけば、以前のような素晴らしい景観がよみがえるかもしれません。

鮎返の甌穴群から約300m上流に「であい」と呼ばれる場所があります。ここは、中元寺川と安宅川が合流するところで、2つの川が出合う場所とことからこの呼び名がついたそうです。中元寺川は英彦山山系を源流とする軟水で、長い距離を流れてきているので、比較的水温が高くなっています。これに対し安宅川は戸谷ヶ岳周辺の丘陵を源流とする硬水で、流れる距離が短く急流なので水温は低いまま流れています。この性質の違う2つの川が緩やかに合流するためすぐには混ざりあわず、川の中に水の筋を作っています。これは、自然に流れる河川では大変珍しい現象です。

現在、この川又には町の特産品を販売している農産物直売所De・愛があります。鮎返の甌穴群からこの「であい」までの中元寺川には、たくさんの自然遺産が存在します。



鮎返の甌穴群

農産物直売所De・愛



町内の農家で生産された季節の野菜や果物、加工品、生鮮食品などが毎朝届けられ、新鮮かつ安全な農産物を販売しています。おいしいものと楽しい笑顔に出会える場所です。

安宅の滝



江戸時代の土豪横地氏が観賞用につくったといわれる滝（不動大明神が祭られている。）で、高さ9m、幅2mあまりの岩を落ちる様子に心安らぎます。マイナスイオン漂う癒しのスポットになっています。

川崎町観光リンゴ園



豊かな自然と静寂に包まれた環境にあるリンゴ園は、昭和63年に観光事業の一環として開園しました。8000㎡の広さに、800本以上のリンゴの木が植えられています。標高400mの寒暖差により糖度はバツグンです。

De・愛の鐘



中元寺川と安宅川の合流する（出会う）川のほとりに設置された鐘。「訪れた人に良い出会いがありますように」という想いが込められています。2つの川が合流する景観の良い場所です。

藤江氏魚楽園



室町時代に雪舟が築庭したと伝えられる国指定名勝庭園。四季折々に美しい表情を見せ、特に秋の紅葉の美しさは圧巻です。紅葉の見頃となる11月下旬にはライトアップを実施しています。

かわさきパン博



県内外の有名パン屋が川崎町に集結し、町の人口を超えるほどの来場者で賑わう町の一大会事です。川崎町の特産品を使った、この日しか味わえないパンの販売もあります。

河川愛護活動の 協働事業を募集します!!

福岡県では、河川愛護活動の活性化を図るため、河川愛護団体が、会員以外の参加者ととも活動を行うことに対し、報償金等を加算する制度があります。会員以外の参加者と協働して除草・清掃を行い、いつもの活動距離を伸ばした団体には、年間5万円の報償金に加え、活動1回につき2万円を支給します。また、現在2万円までとなっている軍手や鎌などの需用品の支給限度額を、4万円までに引き上げます。

いつもご協力
ありがとうございます。



加算を受けられる活動には条件があります



- 会員以外の参加者が**3人以上**いること
 - 会員のみで活動する場合に比べて、**70m以上**活動距離が伸びること
 - 県が定める方法により、計画書と実績報告書を提出すること
- ※1年度中に1団体2回まで実施できます。

校区の学生さんと!

地元の事業所さんと!

会員以外のボランティアさんと!

新しいなかまと活動しよう!!

計画のご相談は、**県庁河川管理課** または、**所管の県土整備事務所(支所)**まで
必要な手続き

- 1 所管の県土整備事務所に、計画書(様式1)を提出する。
※活動箇所の分かる平面図と会員以外の名簿が必要です。
- 2 安全に十分配慮して活動を実施する。
※活動の様子を写真で記録してください。
- 3 活動の様子を写真を添付して実績報告書を提出する。
報償金を加算できる活動の件数には限りがあります。必ず実施の2週間前までに、まずはお電話でご相談ください。



計画書の様式は、

[福岡県申請書ダウンロード](#) 河川愛護協働事業

検索

お問い合わせ・ご相談は・・・ **県庁河川管理課** 管理係 ☎092-643-3666 または、
お近くの**県土整備事務所(支所)** 管理係(庶務課)まで!

かなまるがわ

いけまちがわ

しょうしがわ

金丸川・池町川、庄司川等において 浸水対策重点地域緊急事業を実施

平成30年7月豪雨で大きな浸水被害を受けた、金丸川・池町川、庄司川等の浸水被害の軽減を図るため、令和2年度から浸水対策重点地域緊急事業を実施します。

浸水対策重点地域緊急事業とは

中小河川の氾濫により深刻な影響が生じた地域において、再度の災害を防止すること等を目的として、平成31年度から創設された事業です。

現在、全国の12地域で事業化されており、そのうちの5地域について福岡県で実施しています。

【筑後川水系 金丸川・池町川(久留米市)】



平成30年7月 浸水被害状況

事業の概要

- ・ 事業期間：令和2年度～令和6年度 ・ 全体事業費：約126億円
- ・ 事業内容：放水路、地下調節池、排水機場、調節池、護岸嵩上げ(バラベット)等

【遠賀川水系 庄司川(飯塚市)】



平成30年7月 浸水被害状況

事業の概要

- ・ 事業期間：令和2年度～令和6年度 ・ 全体事業費：約32億円
- ・ 事業内容：築堤、護岸、橋梁、堰、調節池等

九州初

県管理の排水ポンプ車を導入!

県内では、平成29年から令和2年にかけて4年連続で甚大な浸水被害が発生しています。

令和元年8月に久留米市で発生した陣屋川の浸水被害では、国の排水ポンプ車が出動し、浸水被害の軽減に大きく寄与しました。

このことを踏まえ、福岡県では、九州の県としては“初”となる排水ポンプ車を導入しました。

排水ポンプ車は、久留米県土整備事務所に配備し、6月27日から運用を開始しています。

洪水時に浸水被害が発生した現場に速やかに出動し、排水作業を行うことにより、被害の軽減を図ります。

導入した排水ポンプ車

1分間に30㎡の水を排水する能力があり、25mプールの水を10分程度で排水することができます。

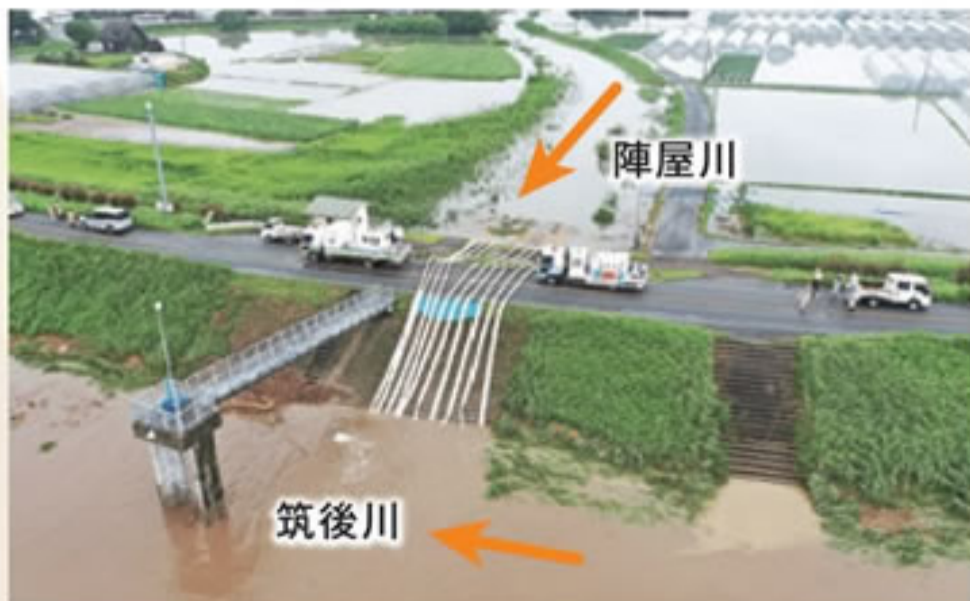


排水作業の主な流れ

令和2年7月豪雨で“初”出動

「令和2年7月豪雨」では、筑後地方を中心に浸水被害が発生しました。

今回、久留米市北野町の陣屋川において、排水ポンプ車導入後初の排水作業を行い、浸水被害の軽減に寄与しました。



陣屋川(久留米市北野町)における排水状況
令和2年7月8日撮影

河川功労者表彰

河川功労者とは、河川愛護活動や河川の機能保全、改善のために力を尽くし、その功績が顕著な個人並びに団体を各市町村からの推薦によって決定しています。

令和2年度の河川功労者は、河川協会長表彰の個人表彰3名、団体表彰3団体、知事表彰の団体表彰3団体の方々でした。

河川愛護活動などに多大な貢献をされた皆様に対して、県土整備事務所及び北九州市役所で表彰を行いました。

福岡県河川協会長表彰



いけだ ひさのり

池田 久紀 様 (中間市)

河川愛護団体「曲川を守る会」を設立し、会長として10年以上の長きにわたり河川愛護活動の推進に貢献していただいています。



曲川を守る会 様 (中間市)

曲川の清掃・除草など10年以上の長きにわたり河川愛護活動を行っていただいています。



かわかみ

川上 さつき 様 (糸島市)

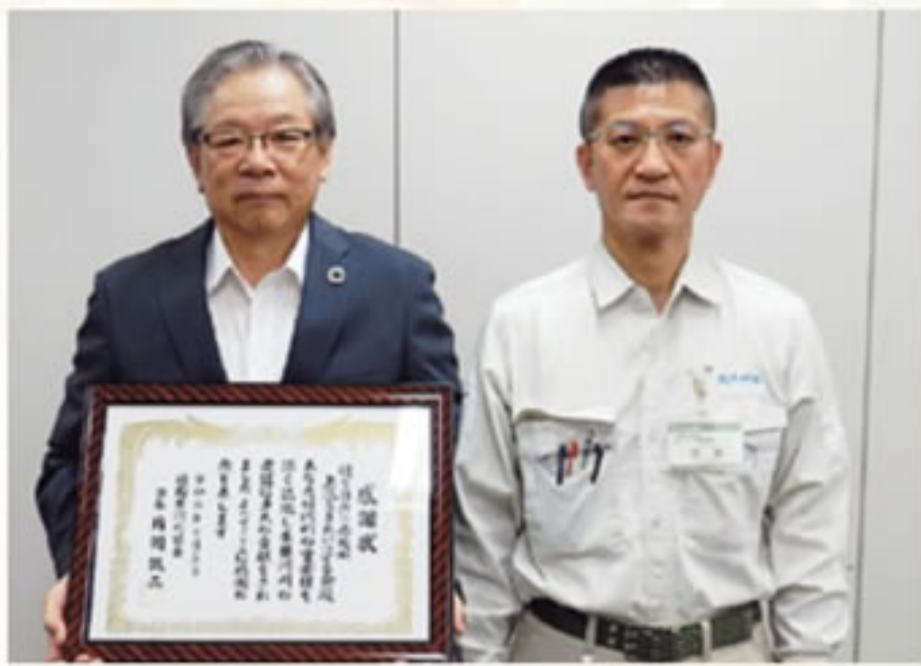
川原川の臨時水位観測員として、12年以上の長きにわたり河川災害防止に貢献していただいています。



ながた とくみ

永田 徳美 様 (筑紫野市)

山口川の臨時水位観測員として、13年以上の長きにわたり河川災害防止に貢献していただいています。



**緑と自然の赤坂川
上流をきれいにする会 様 (北九州市)**

赤坂川(普通河川)の清掃・除草など19年以上の長きにわたり河川愛護活動を行っていただいています。



**北九州市立長崎街道
木屋瀬宿記念館運営協議会 様
(北九州市)**

遠賀川の清掃・除草など10年以上の長きにわたり河川愛護活動を行っていただいています。

福岡県知事表彰



板持区瑞梅寺川を守る会 様 (糸島市)

瑞梅寺川の清掃・除草など40年以上の長きにわたり環境美化活動を行っていただいています。



池田地区瑞梅寺川を守る会 様 (糸島市)

瑞梅寺川の清掃・除草など37年以上の長きにわたり環境美化活動を行っていただいています。



桜井川を守る会 様 (糸島市)

桜井川の清掃・除草など40年以上の長年にわたり環境美化活動を行っていただいています。

ふくおかの身近な川と さかなを知らう!

No.2 

いぬい
乾
りゅう てい
隆帝



汽水域に入るための道具立て

乾です。前号の執筆中はまさに新型コロナウイルス感染拡大の真っ只中でした。前号が出版されたころは福岡県における陽性者数も落ち着いた状況になって少しほっとしていたのですが、また執筆のタイミングで、陽性者数が増加して安心できない状況になってきました。これが出版される頃には少し落ち着いた状況になっていてほしいものです。6月に入って緊急事態宣言が解除されたころから、私の研究室では、少人数でできる干潟調査を少しずつ再開し始めました。約2か月間調査ができていなかったの、例年に比べて出遅れてはいるものの、ようやく研究らしいことがやり始められました。

さで、今回は汽水域調査に適切な日の選び方を「潮汐」からの視点で説明したのですが、今回は、調査に行く際の恰好、特に干潟調査にも対応できるようなイメージでの調査時の装備について説明していきたいと思います。まず、干潟を有する汽水域に入るうえで、私は足元が一番大切だと思っています。私が知る限り、干潟に慣れていない人が、沈んで動けなくなる時に最も多い原因が「靴が脱げる」ことです。ですので、脱げるような物を履いて汽水域に行くのは、基本的にはやめたほうがいいと思います。私が一番お勧めしたいのは、アユ釣りの時に履くことを目的として作られた「アユ足袋」です(写真1)。この

足袋は、本体がネオプレンで、底がフェルトです。自分の足にぴったりとフィットするか、やや小さめのものを選ぶと、泥干潟でも歩きやすいと思います。次に、下半身に履くものなのですが、私は、厚さ3mm前後の薄手のウエットスーツ(写真2)をお勧めします。冬場なら5mmのものでも良いのですが、それ以外の時期は、動きやすい薄手のもののほうが良いと思います。干潟を有する汽水域に長靴で入る人や、胴長で入る人を時々見かけますが、前者はヨシが生えるくらいの地盤の高い塩性湿地までなら大丈夫ですが、それより地盤の低い干潟には入らないほうが良いと思います。胴長は、干潟歩きに慣れた人であれば泥干潟でも問題なく歩けますが、慣れていない人は泥干潟にはまって靴が脱げて動けなくなる場面をよく目にします。また、滞筋を渡る場合にも危険が伴う(転倒したら足が浮いて顔が沈む)ことから、あまりお勧めはできません。長靴や胴長は、状況に応じて危険ではない場面で使用するようにしてください。

次に、上半身に着るものですが、汽水域にはカキや植物等の生物由来のものだけでなく、ガラスや針金、釘等の怪我の原因となるものが多数存在しますので、可能な限り長袖を選択したほうがいいと思います。私は、スポーツ用のアンダーシャツ(写真3)を多用しています。そして、手袋も必ず準備してほしいも

の1つです。軍手や、釣り用の指先が切れているものでも大丈夫ですが、私の経験上、ゴムコートの背抜き手袋(写真4)が最も使い勝手が良かったです。そして、頭にかぶるものも、特に暑い時期には重要です。帽子やサンバイザー等でも良いと思いますが、私は目に汗が入るのを防いでくれる、バンダナ風に仕立てたタオル(写真5)を愛用しています。

こまでは、汽水域調査の際に身に着けるものを説明しましたが、ここからは、採集道具について説明していきたいと思います。私が汽水域でおこなう生物調査は、主にハゼ類を対象としたものです。詳細については次号以降で説明したいと思っておりますが、汽水域、特に干潟に生息しているハゼ類は、泥や砂、礫を掘り返しての採集が中心になるので、スコップやシャベルが一番大事な採集道具です。私は、強度とメンテナンスのしやすさから、写真のようなオールステンレスのシャベル(写真6)をここ10年ほど使っています。そして、水中に生息している生物をすくい取るためのタモ網も必須です。干潟の浅い(数cm程度)タイドプールをすくうことも多いので、比較的幅が小さく(40cm前後)、網地の目合いが2mm程度でコシのあるものを使いやすいです(写真7)。学生のころは、ナイロンモジ網のようなしっかりした網を網屋さんから購入して、自分でタモ枠サイズに裁断してから縫って、自分好みのタモ網を作っていたのですが、最近はややこまにする時間が無くて、既製品に頼ってしまっています。

こまで生き物の話がほとんど登場してこなかったですが、次回以降は、いよいよ汽水域に生息するハゼ類の生態的特性と、採集の仕方に移ってきたいと思います。



いぬい りゅうてい
乾 隆帝 - RYUUTEI INUI -

- 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 准教授
- 応用生態工学会編集委員
- 土木学会水工学論文編集委員
- 環境省レッドリスト検討委員

主な著書／

- レッドデータブック2014 4 汽水・淡水魚類—日本の絶滅のおそれのある野生生物—(2015)
- 魚類 福岡県の希少野生生物—福岡県レッドデータブック2014(2014) など

河川協会からのお知らせ

令和2年度 福岡県河川協会通常総会

令和2年度福岡県河川協会通常総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

このため、令和2年7月31日、正会員(市町村)及び特別会員(福岡県議会県土整備委員会の正・副委員長)に「書面による議案審議」を実施していただき、いずれも原案どおり承認されました。

また、福岡県では、4年連続で大雨特別警報が発表され各地で甚大な被害が発生しており、総会における要望決議に基づき、後日、国土交通省及び地元選出国會議員の方々に陳情・要望を行うこととしております。

第17回 ふくおか水もり自慢!のおしらせ

平成16年から毎年開催しており、本年度で第17回になります。

本年度は令和2年12月6日(日)に福岡市内で開催する予定です。

詳細な内容が決まりましたら、福岡県県土整備部河川整備課のHPに掲載します。

(URL:<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/soshiki/4800724/>)

皆様のご参加をお待ちしております!

ふくおか川の大掃除は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止します! ～県民参加による河川美化活動～

例年、毎年10月をクリーンリバー推進期間! 第4日曜日を統一活動日! として、県内で河川の一斉清掃を呼びかけ、ふくおか川の大掃除を実施していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止します。

編集 後記

今年の夏は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自粛生活が続き、旅行や外食にも行けませんでした。

9月に入り、徐々に秋らしくなっています。実りの秋、食欲の秋、気兼ねなく、美味しい食事に行きたいものです。

表紙の写真は、田川郡大任町大字今任原周辺の彦山川です。
(友松・北川)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川管理課内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-633-2826(直通)
FAX:092-643-3669
企画 アロー印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>

